

富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり

「県盛土等の規制に関する条例」について 【条例の概要】

2023年
静岡県

1

本資料の流れ

- 1 はじめに
- 2 条例の特徴
- 3 盛土等とは？
- 4 許可の対象となる事業
- 5 申請から完了までの主な流れ
- 6 生活環境の保全のための措置
- 7 申請までに事業者が行うこと

2

1 はじめに① 「策定のきっかけ」

令和3年7月3日 熱海市伊豆山地区土石流災害発生



災害概要

- ・ 逢初川源頭部～伊豆山港まで約2 kmを土石流が流下
- ・ 被災範囲は延長約1 km、最大幅約120mに及ぶ
- ・ 死者27名、行方不明者1名
- ・ 建物被害132棟（181世帯）



不適切な盛土を起点とする土石流が甚大な被害をもたらした

3

1 はじめに② 「背景」

- ・ 本条例は、**令和3年7月に発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害**を受けて、二度と同様の災害を発生させないために、盛土等の規制に係る新たな条例を制定したものです。
- ・ 流出した土砂からは、環境基準を超える**人体に有害なフッ素が検出**されたため、このような有害物質による汚染を防止する必要が生じました。
- ・ 大規模な盛土等は、ひとたび崩壊等の災害が発生すれば、その影響が甚大となることから、本条例では**災害の防止上と環境の保全上の基準を設け、一定規模以上の大規模な盛土等について許可制度を導入**することとしました。

4

1 はじめに③ 「県取り組み」

○一定規模以上の盛土等を許可制に

- ・ **令和4年7月1日**から、「盛土条例」を施行しました。
- ・ 都市計画法や森林法等が適用されない**盛土等への構造基準**をつくりました。
- ・ **県が申請書の審査**を行います。

○不適切な盛土等の監視体制を強化

- ・ 盛土監視機動班を設置し、**定期的に監視**を行っています。
- ・ 県民からの不適切な盛土の通報窓口「**盛り土110番**」を設けました。

5

2 条例の特徴

【その1】

- 届出制から**許可制**になりました。

【その2】

- 盛土等の構造の基準に加え、**環境の保全のための基準（土砂基準等）が規定**されました。

【その3】

- 盛土等に使用する土砂等の適正な管理のため、**定期的な報告が義務付け**られました。

【その4】

- 盛土等を行う**土地の所有者の責任**が明確になりました。

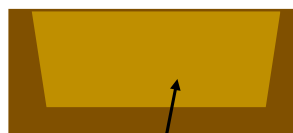
6

3 盛土等とは？① 「盛土等の定義」

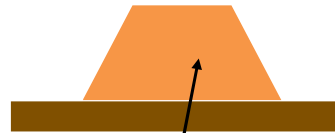
盛土、埋立てその他の土地への**土砂等の堆積**をいう。
(条例第2条第1項第1号)

【盛土等に該当しないもの】

- 植栽等のための**覆土**
- 敷均し**（30 c m未満で平坦な場所に限る）
- 構造物**（舗装、路盤、路床）
及び**構造物の設置に伴う埋戻し**
- 農業の**畝立て、畦の補修**
(田から畑への転換に伴う埋立てや盛土は盛土等に該当)

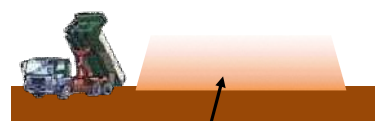


埋立て



盛土

※要個別相談



一時堆積

7

3 盛土等とは？② 「農地への不適正な盛土事例」



8

4 許可の対象となる事業① (許可者:県)

- 盛土等を行う土地の区域が面積1,000㎡以上※1又は土量1,000㎡以上は知事の許可が必要となります。
- 国、地方公共団体等が行うものは許可不要※2です。
- ほかにも許可が不要となる事業等があります。

※1 切土の面積は含みません。

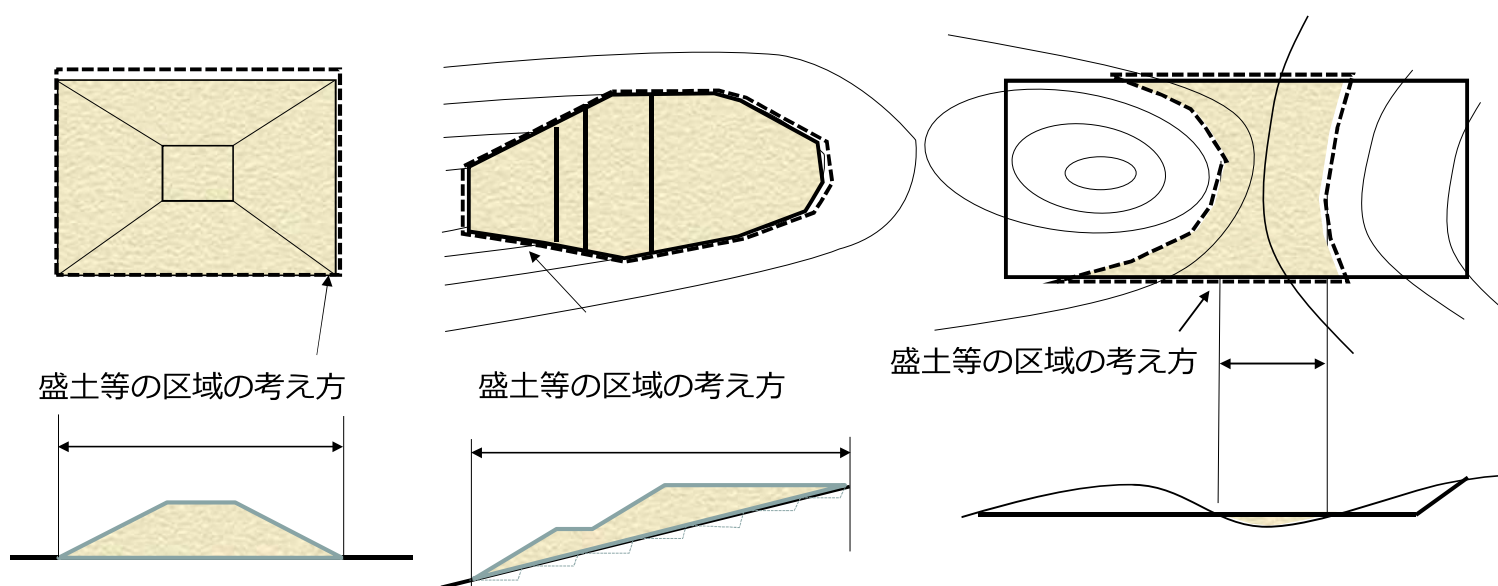
※2 環境の保全のための基準は適用されます。

【主な許可基準】

- ・ 欠格要件(破産者、暴力団員など)
- ・ 申請者の資金力
- ・ 災害を防止するために必要な措置
- ・ 生活環境の保全上必要な措置
(土壌の汚染の状況、水質の調査)
など

9

4 許可の対象となる事業② 「盛土等の区域の考え方」



※ 対象となるのは、**盛土等が行われる区域**です。

10

5 申請から完了までの主な流れ



①土地の所有者の同意の取得

土壌調査の実施

説明会の開催（許可申請の30日前まで）
意見への対応 など

②盛土等の許可申請

③申請書の審査(90日程度)

④土砂等の発生場所と汚染のおそれがないことの
確認・報告

土砂等管理台帳の作成、
標識の掲示 など

⑤水質調査及び土壌調査(1回/6ヶ月)の実施・報告

土砂等の量の報告(4月と10月)

土砂等管理台帳の閲覧・保管

⑥盛土等の完了の届出

水質調査及び土壌調査(完了時)の実施・報告

太字の部分は、土壌
や水質の調査に関係
する内容です。

11

6 生活環境の保全のための措置①

【大原則】

土砂基準に適合しない土砂等を用いた盛土等の禁止

条例第8条第1項

何人も、土砂基準に適合しない土砂等を用いて盛土等
を行ってはならない。

○条例には、盛土等の構造上の基準に加え、**生活環境の
保全上の基準**を盛り込みました。

○生活環境の保全は、許可を受けた者以外にも遵守して
もらう内容であることから、**全ての人が守るべき事項と
して規定**しています。

○**条例の許可が不要となる事業者及び事業にも適用されます。**

12

6 生活環境の保全のための措置② 「土砂等による土壌の汚染の把握の方法」

申請前

- 盛土等を行う土地**の土壌の汚染状況を調査

許可後

- 盛土等に使用する土砂等の搬入前に**その土砂等の汚染状況を確認

盛土等を行う者
(残土処理含む)

土砂等を搬出する者
(採石、砂利採取業含む)

確 認

提出

土砂等が汚染されていない証明
(地歴等の調査結果や分析結果を添付)

- 定期的(6カ月に1度)**に**土壌及び水質の調査**を実施

完了時

- 完了時に土壌及び水質の調査**を実施

13

7 申請までに事業者が行うこと (土壌調査を除く)

土地の所有者からの同意の取得

◎本条例では、盛土等を行う者が不適切な盛土等を行った場合には、**土地の所有者にも知事からの是正命令等がされる可能性があります。**

- 事業者には、**盛土等区域内の全て土地の所有者**に対して、**申請内容を説明し、同意を取得**することを義務付けました。

住民説明会の開催

- 事業者には、**盛土等区域の隣接地及び盛土等区域の自治会の住民**を対象に**説明会を開催**することを義務付けました。
- 説明会は、**申請予定日の30日前までに開催**しなくてはなりません。

14

おわりに

- 条例に規定された土砂基準等の遵守は、事業者の方々には大きな負担となりますが、一方で、**地域住民の生活環境の保全を図るために非常に重要**なことになります。
- また、災害につながる可能性のある**不適切な盛土等の早期発見・対応を行うには**、地域にお住まいの方や活動されている方からの**情報提供が重要**となります。
- 盛土等に起因する災害を防止するため、御協力をお願いします。

15

連絡先

盛り土110番

こんな盛土を見つけたらお知らせください

- ・夜間にダンプが大量の土砂を運び込んでいる！
- ・土砂が高く盛られて、斜面の勾配が急で危険だ！
- ・盛土が崩れて水が流れ出している！ など

通報窓口はこちら

- ☐ パソコン・スマホで入力
盛土対策課ホームページから
インターネット専用フォームを選択
- ☐ 電話で連絡
☎ 054-252-9000

16